

快適に使用していただくために

取扱説明書

プレミエスゲート
－ 電動タイプ －

もくじ

1.安全のために必ず守ってください	1
2.各部の名称	7
3.電装ケースの設定方法	9
3-1 電装ケースの名称およびはたらき	9
3-2 スイッチカバーの開閉方法	10
3-3 電源の入れ方・切り方	10
3-4 リモコン送信器を新規登録・追加登録 ・登録抹消するときの方法	11
4.使用方法	12
4-1 施錠・解錠方法	12
4-2 リモコン送信器の操作方法	13
4-3 押ボタンスイッチの操作方法	14
4-4 外部押ボタンスイッチの操作方法（オプション）	15
4-5 電動で動かないときの操作方法	16
4-6 安全装置について	17
4-7 光電センサーが障害物を感知して停止した場合の復帰方法	17
4-8 ご注意とお願い	18
5.調整および交換方法	19
5-1 リモコン送信器の電池交換	19
5-2 調整について	19
6.お手入れについて	20
7.修理を依頼する前に	23
8.修理と保証	25
9.別売り品	26
10.仕様	26

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

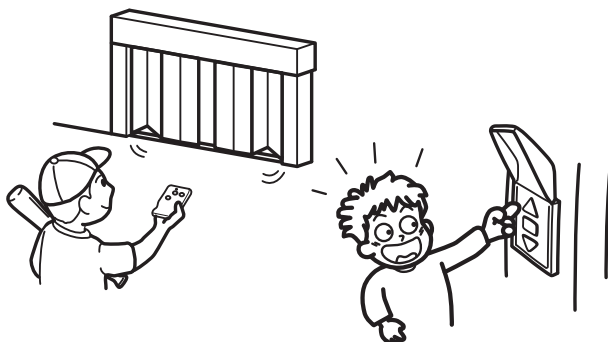
この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれがある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
 補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

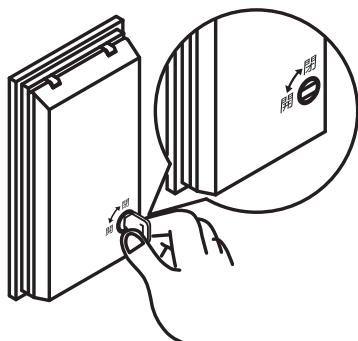
1 安全のために必ず守ってください

警告



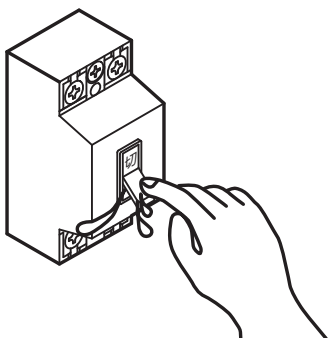
- お子様には操作させないでください。
ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

警告



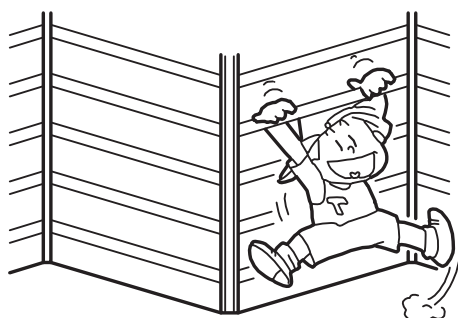
- 押ボタンスイッチを使用しない場合は施錠をしてください。お子様が操作をして、誤ってパネルにはさまれるなど重大な事故につながるおそれがあります。

警告



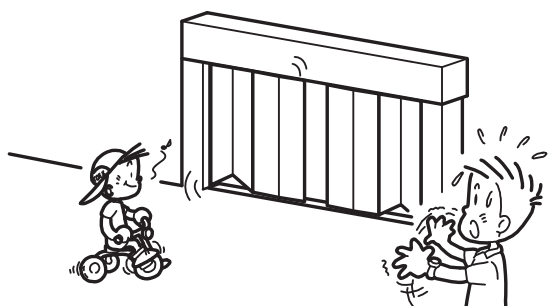
- 濡れた手でブレーカーを操作しないでください。
感電するおそれがあります。

警告



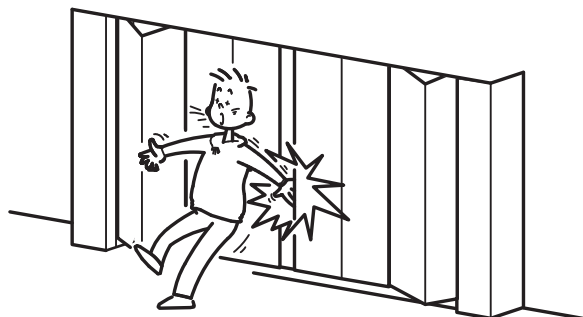
- パネルにぶらさがったり、乗ったり、寄りかかったり、手や足をかけないでください。部品などの破損や故障の原因になり、思わぬケガや重大な事故につながるおそれがあります。
特に小さいお子様には十分に注意してください。

警告



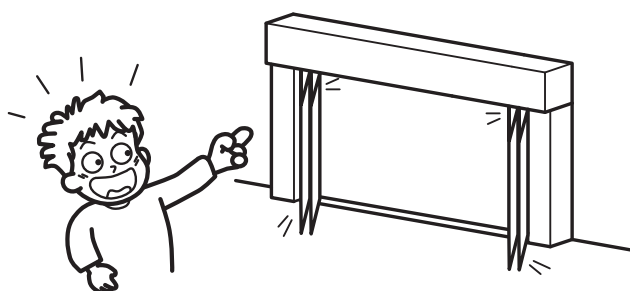
- パネルの開閉時には、障害物がないことを確認してください。
特に小さいお子様には十分に注意してください。

警告



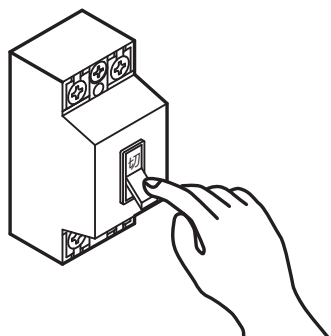
- パネルを開閉しているときは、動く部分に手や指などをはさまれないように注意してください。ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

警告



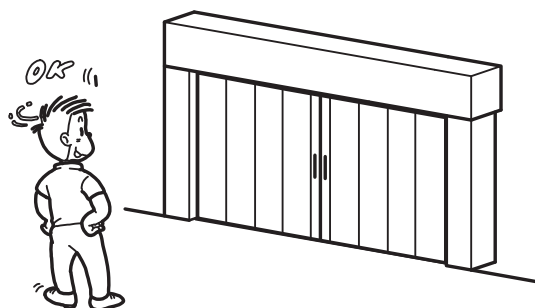
- 人や車の出入りを行なうときは、パネルの動きが止まったことを確認してください。パネルの開閉途中に出入りすると、はさまれてケガをしたり、車をキズつけたり、重大な事故につながるおそれがあります。

警告



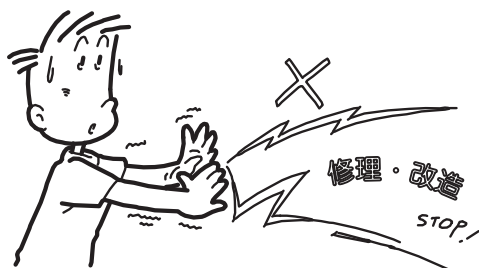
- 停電のときは、電源を切ってください。停電復帰時にパネルが自動的に閉まるので危険です。
思わぬケガをしたり重大な事故につながるおそれがあります。

警告



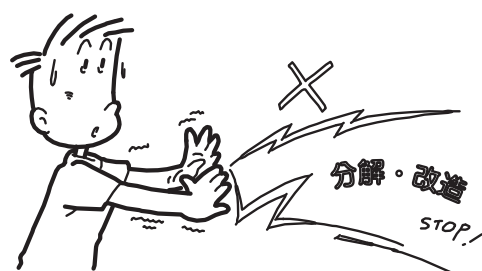
- パネルは開けたまま放置せず、必ず1回毎に閉めてください。
停電復帰時にパネルが自動的に閉まるので危険です。また、強風等でパネルが勝手に閉じたりすると思わぬケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

警告



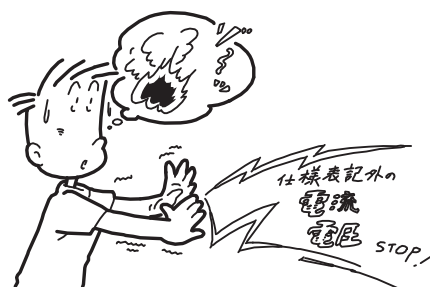
- パネルを取外すなどして、ご自分で修理や改造をしないでください。
ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

警告



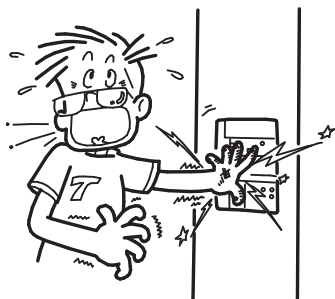
- 送信器を分解したり、改造したりしないでください。異常な作動をして火災・感電・ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

警告



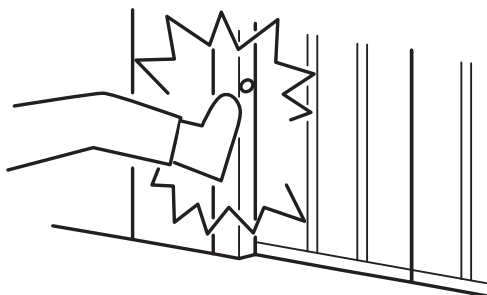
- 仕様に表記された電流・電圧以外の電源は使用しないでください。
火災等につながるおそれがあります。

警告



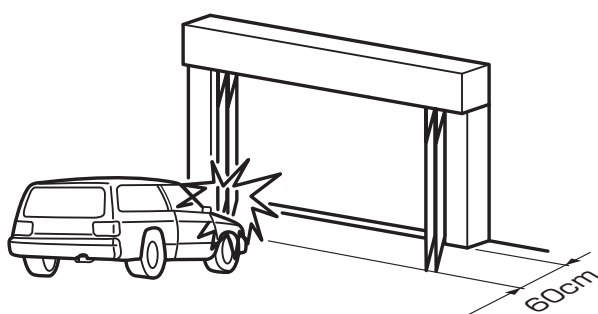
- 電装ケース内の配線にはふれないでください。
感電するおそれがあります。

警告



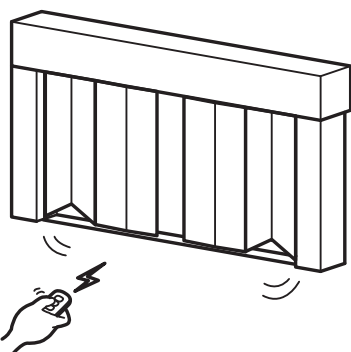
- 光電センサー部分に強い衝撃をあたえないでください。衝撃で故障して安全機能が働かなくなり、パネルにはさまれるなど重大な事故につながるおそれがあります。

警告



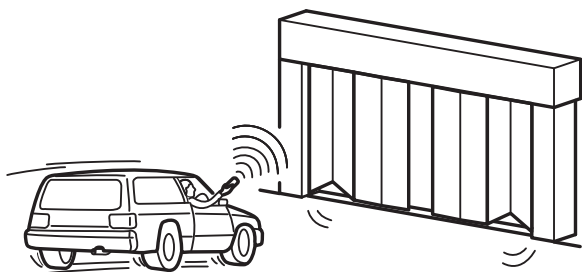
- パネルは折戸タイプを使用しているため、パネルの引き込みにより空けなければならないスペースが発生します。パネルの開閉の際には必ず柱から敷地側に60cm以上のスペースを確保してください。車をキズつけたり、重大な事故につながるおそれがあります。

警告



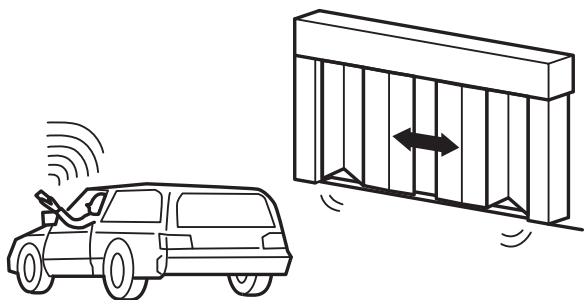
- 扉の開閉操作をする場合は、開閉が終わるまでパネルが見えるところから離れないでください。人や物がパネルにはさまれるなど重大な事故につながるおそれがあります。

警告



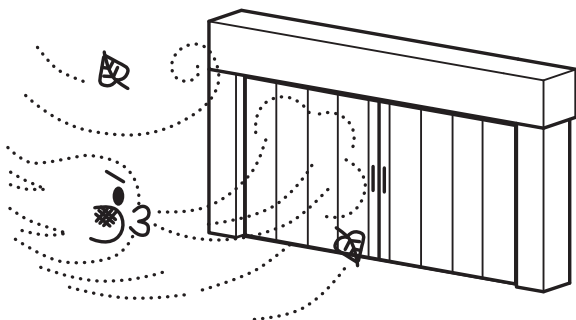
- 車を運転しながら操作しないでください。
重大な事故につながるおそれがあります。

警告



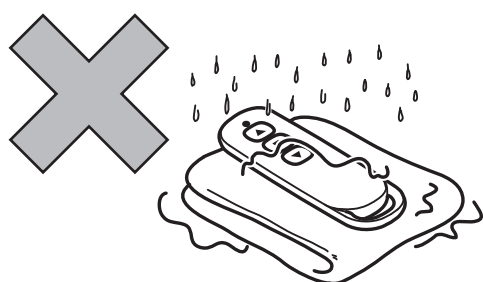
- 車内からリモコン送信器で操作する場合は、開閉が終わるまでパネルが見えるところから離れないでください。人や物がパネルにはさまれるなど重大な事故につながるおそれがあります。

注意



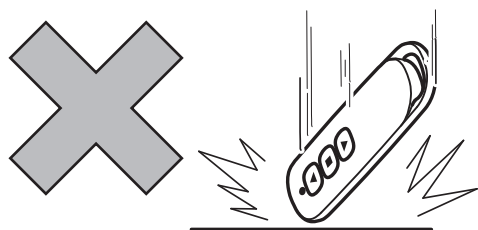
- 風が強いときは無理に開閉操作をしないでください。故障の原因になったり、急に強風が吹き込み転倒などケガをするおそれがあります。

警告



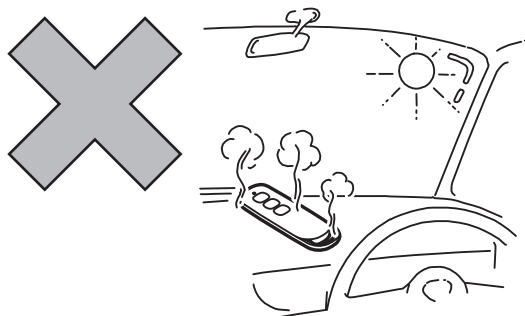
- リモコン送信器や車載リモコンを、雨でぬれる場所またはぬれた物の上に置かないでください。故障または感電のおそれがあります。

⚠ 注意



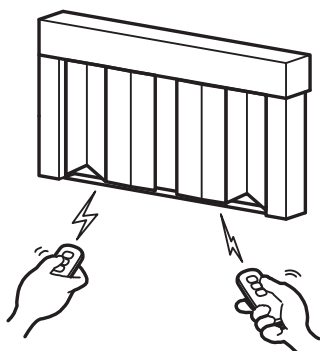
- リモコン送信器や車載リモコンを床に落としたり、衝撃を与えないでください。破損・故障し作動不良等による事故やケガにつながる可能性があります。

⚠ 警告



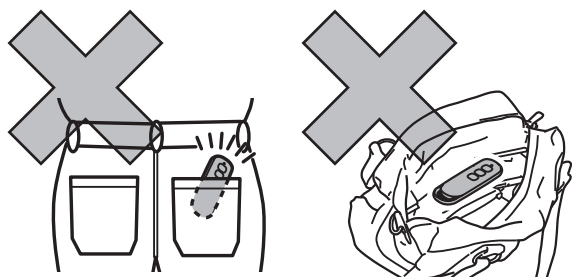
- リモコン送信器を温度が50℃以上になるような、夏期炎天下の車内などには放置しないでください。また、車載リモコンを車内設置する際は、ダッシュボードには設置しないでください。高温により故障の原因になります。

✎ 補足



- リモコン送信器や車載リモコン等、2台以上の機器から同時に送信したとき、および各種無線器コードにて電話などの電波を受けたときは作動しないことがあります。

⚠ 注意

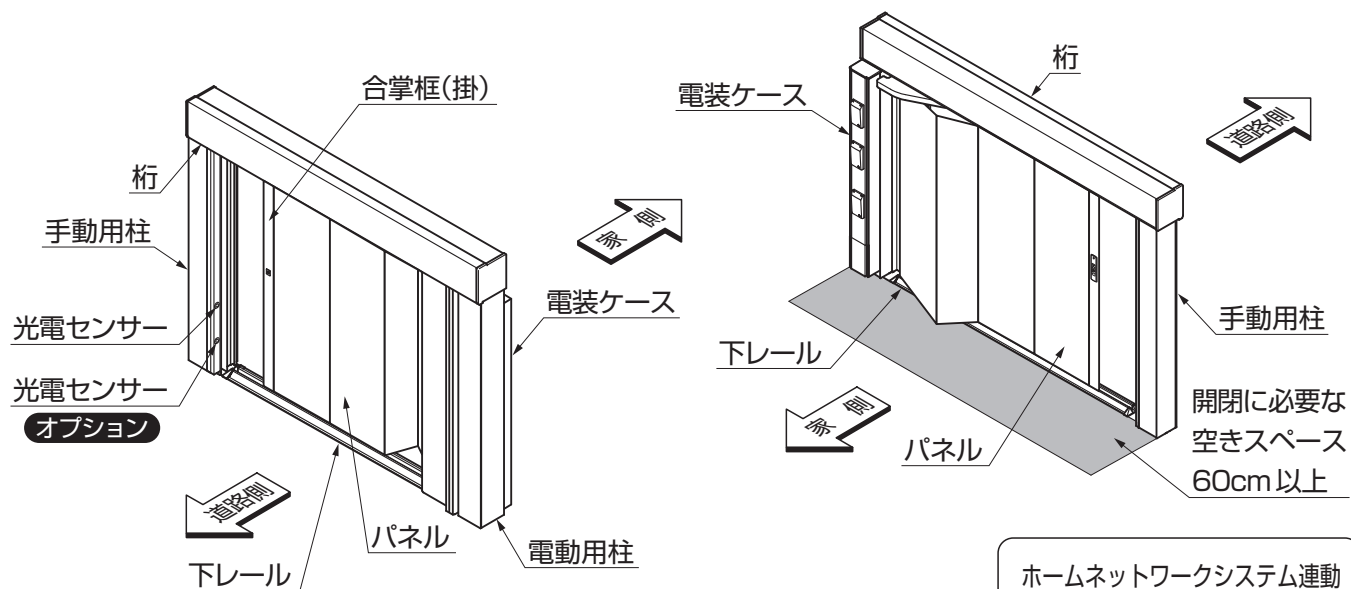


- リモコン送信器やアプリ画面を開いた状態のスマートフォンを、ズボンの後ポケットやカバンの中など他のものと接触するところへ入れないでください。誤ってボタンを押して扉が動き、ケガをするおそれがあります。

2 各部の名称

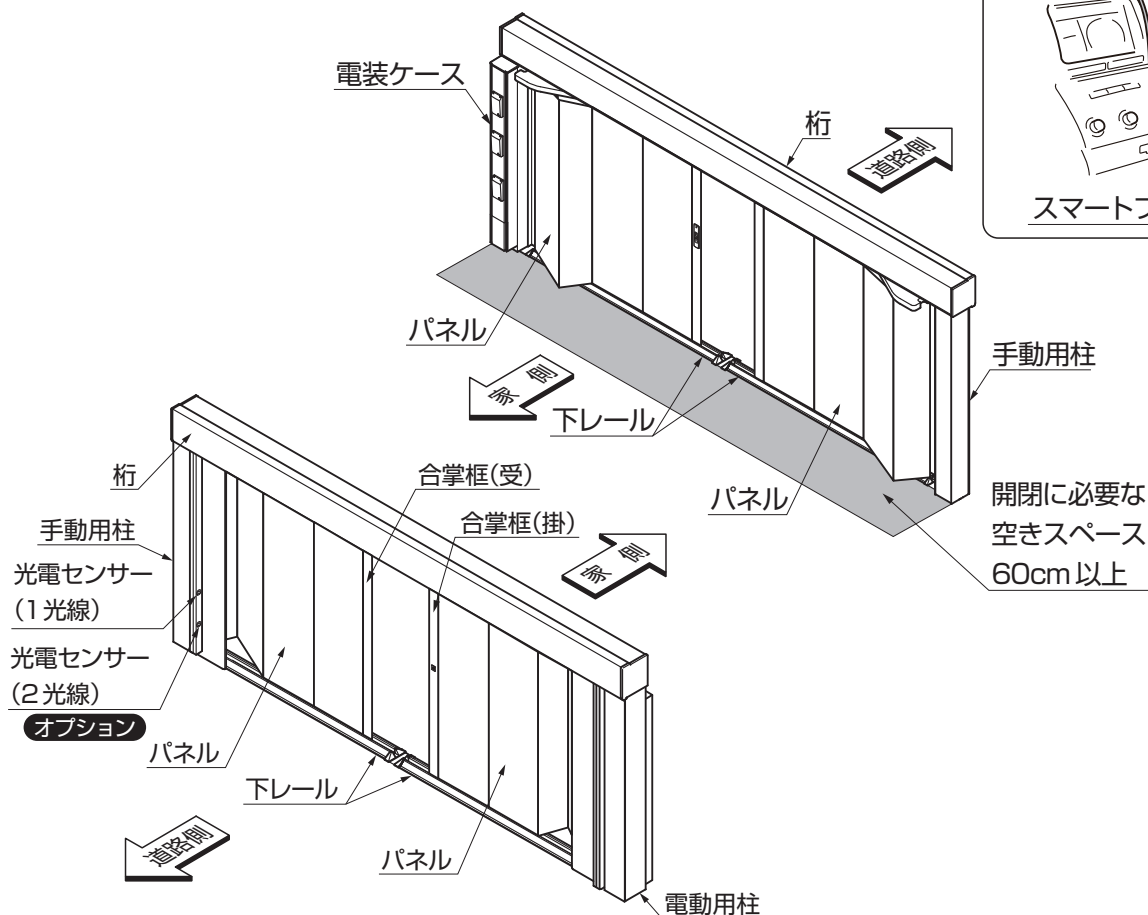
(1) シングル

※図は、右引き・電動右スイッチ仕様の場合



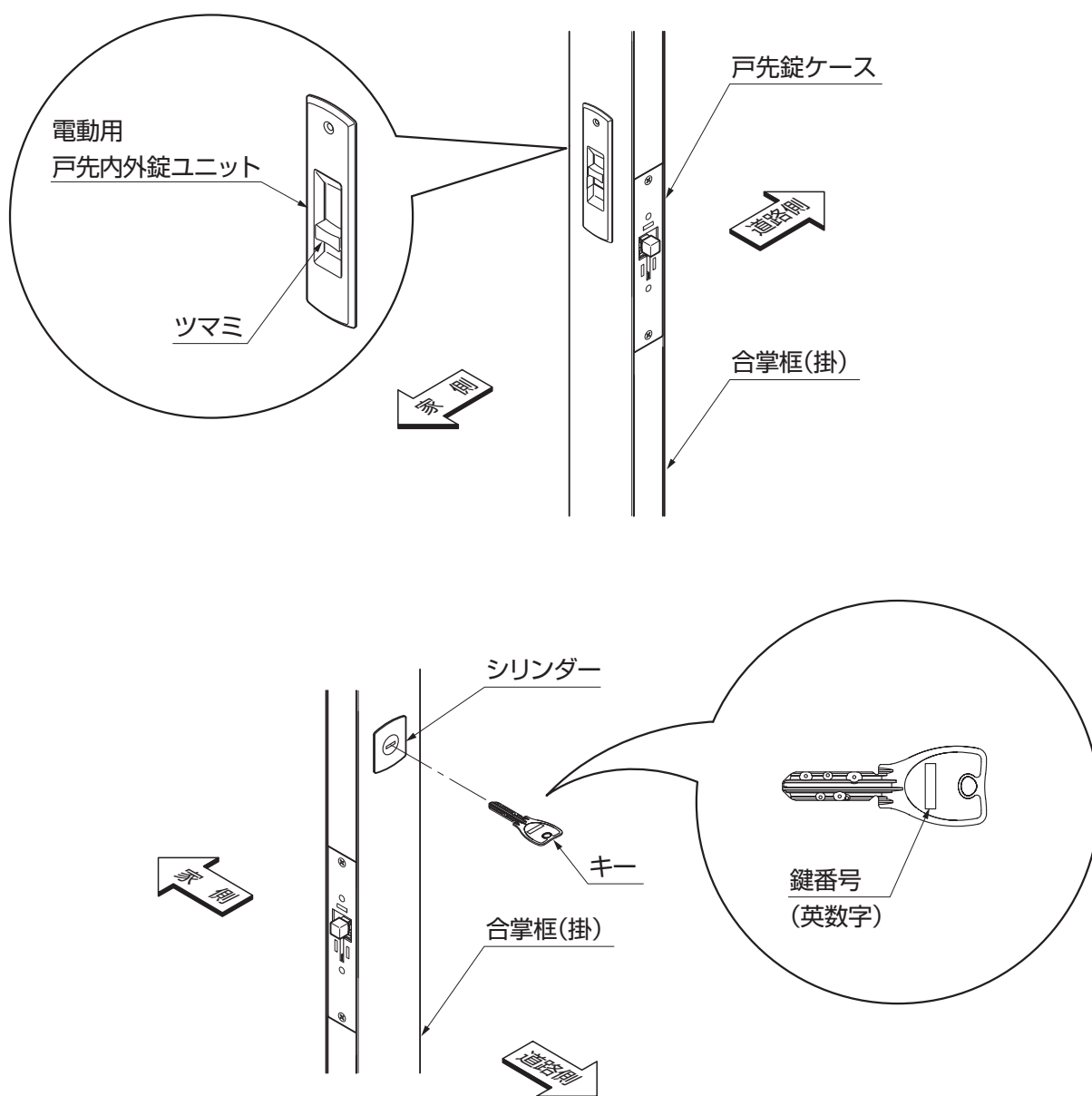
(2) ワイド

※図は、電動右スイッチ仕様の場合



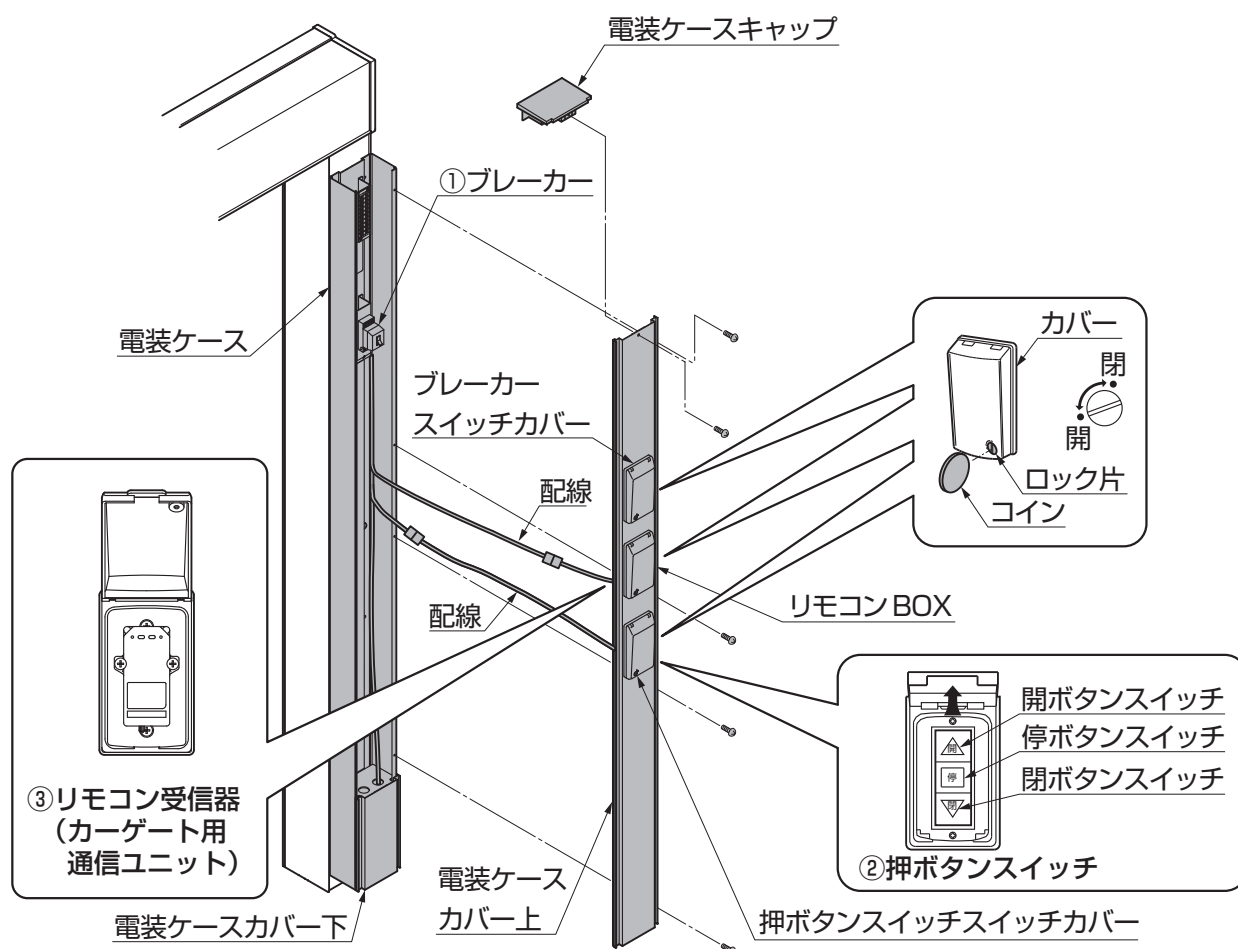
(3) 錠

※図は、右引きの場合です。



3 電装ケースの設定方法

3-1 電装ケースの名称およびはたらき



	名 称	はたらき
①	ブレーカー	ゲートの主電源を「入／切」します。 手動で動かす場合「切」にします。 (通常は電動でご使用ください。)
②	押ボタンスイッチ	ゲートのパネルを開閉するために使用します。
③	リモコン受信器 (カーゲート用通信ユニット)	リモコン送信器を登録・抹消するときに使用します。 ホームネットワークシステムの場合は「ゲート用通信ユニット」 および「車載リモコン」設定ガイドを参照してください。

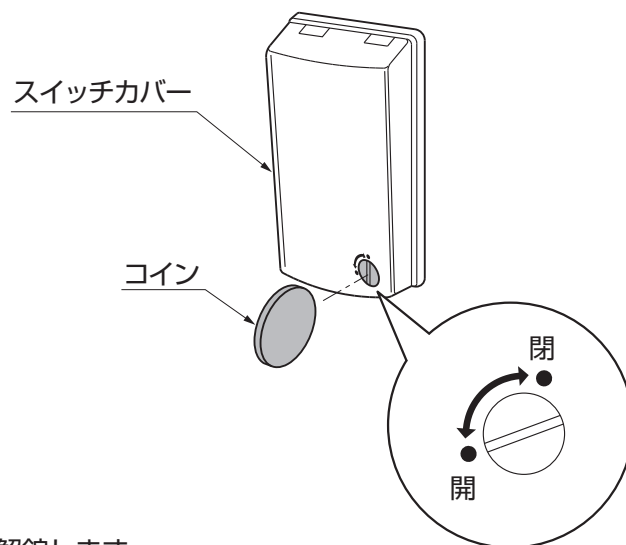
⚠ 警告

- 電装ケース内の配線にふれないでください。感電するおそれがあります。

✎ 補 足

- 電装ケースカバー上を外す場合は、ネジ4本とキャップのネジ1本を外してください。

3-2 スイッチカバーの開閉方法

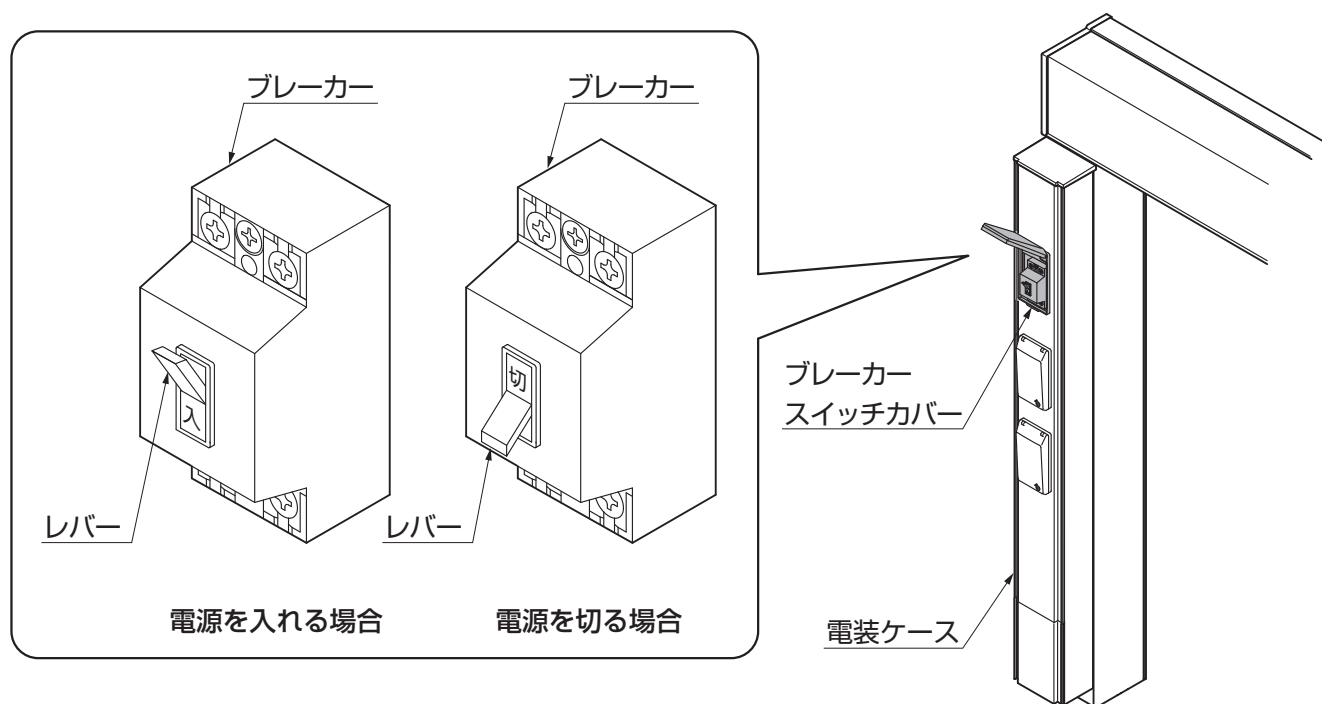


①コインなどで施錠・解錠します。

警告

●不用意な操作による事故を防ぐために、操作時以外は「閉」の状態に必ずしてください。

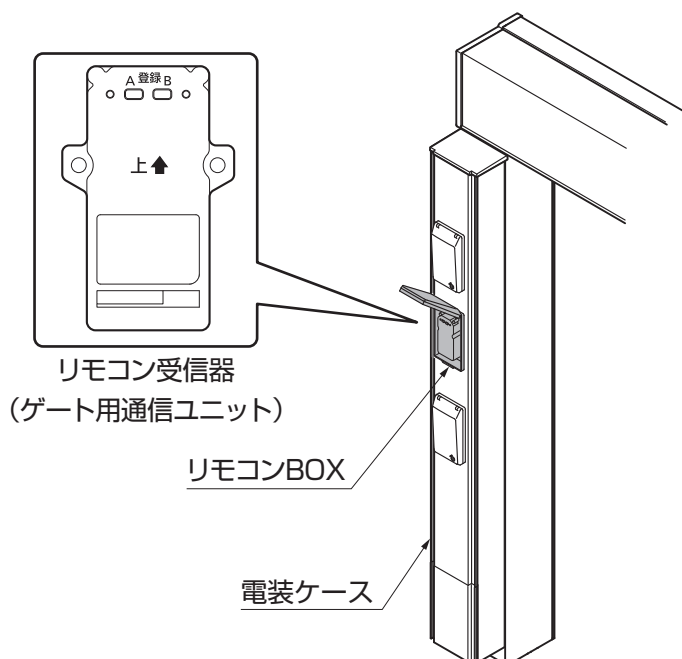
3-3 電源の入れ方・切り方



①ブレーカースwitchカバーを開けます。

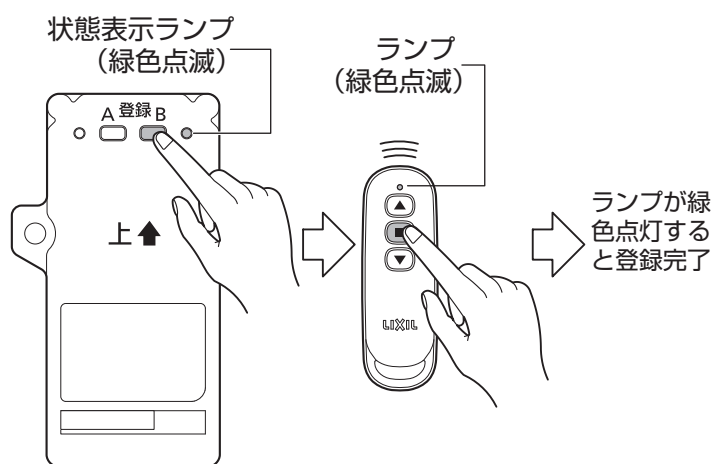
②電源を入れる場合は、ブレーカーのレバーを「入」に上げ、電源を切る場合は「切」に下げます。

3-4 リモコン送信器を新規登録・追加登録・登録抹消するときの方法



①リモコンBOXカバーを開けます。

(1) 登録 ※追加登録する場合も同様の方法になります。



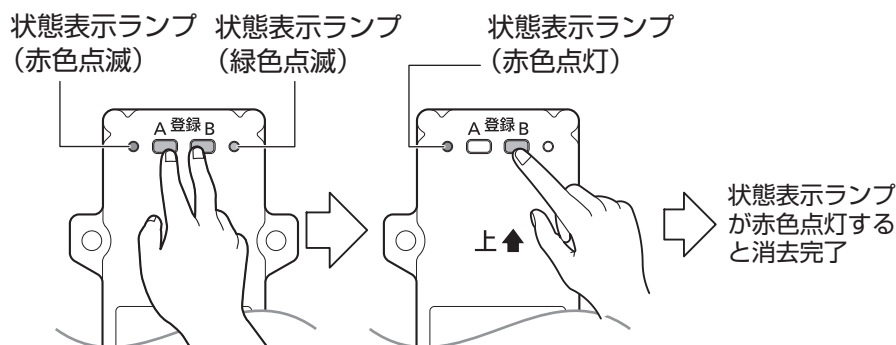
①リモコン受信器（ゲート用通信ユニット）の状態表示ランプが緑色点滅するまで、「登録B」ボタンを約3秒間押します。

②リモコン送信器のランプが緑色点滅するまで、「■」ボタンを約5秒間押します。ランプが緑色点灯しリモコン送信器の登録が完了します。

補足

- 2台以上登録する場合は、①と②の作業を繰り返してください。
- リモコン送信器は、車載リモコンと合わせて16台まで登録可能です。17台目は登録できません。使わなくなったリモコンを入れ替える場合は、リモコン受信器（ゲート用通信ユニット）を初期化し、再度登録してください。

(2) 登録取消し ※登録されているすべてのリモコンを消去します。



①状態表示ランプが緑・赤色点滅するまで、「登録A」「登録B」ボタンを同時に約10秒間押します。

②「登録B」ボタンを押します。状態表示ランプが約2秒間赤色点灯し、リモコン送信器の登録が消去されます。

4 使用方法

4-1 施錠・解錠方法

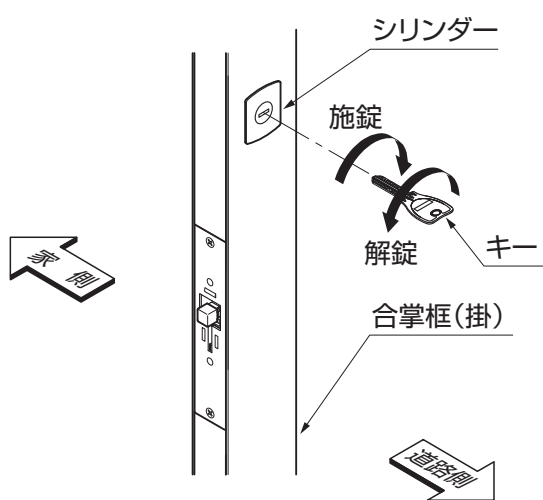
補足

- 電動タイプは、パネルが閉まりきると電磁ブレーキによるロックがかかるため、通常は施錠不要です。停電などで電気が不通になった場合に施錠してください。

お願い

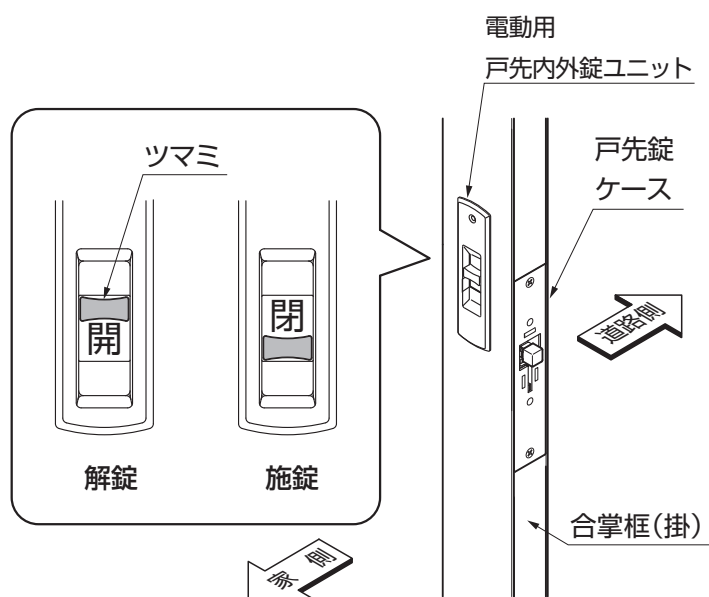
- 電動で使用する場合は必ず解錠してください。施錠したままパネルを開くと過剰に負荷がかかり、モーターや錠の故障の原因につながります。

(1) 道路側から操作する場合



- ①付属のキーをシリンダーに差込みます。
- ②施錠するときは時計回りに、解錠するときは反時計回りに、キーを回します。
- ③キーを水平に戻して抜きます。

(2) 家側から操作する場合

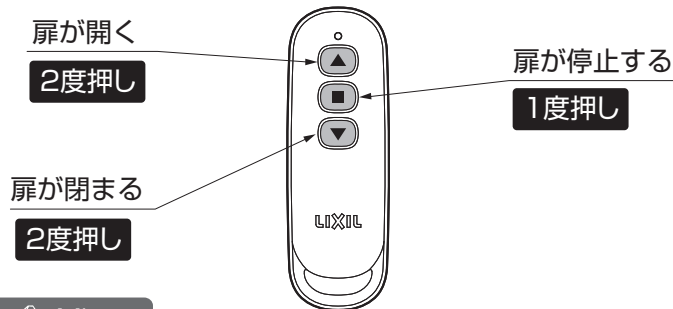


- ①施錠するときは下に、解錠するときは上に、ツマミをスライドさせます。

4-2 リモコン送信器の操作方法

⚠ 警告

- 本製品を操作する場合は、必ず扉を目視確認できる位置で行なってください。操作の際は障害物がないこと、その他周囲の安全を目視で確認してください。特に小さいお子様がないことを確認してください。



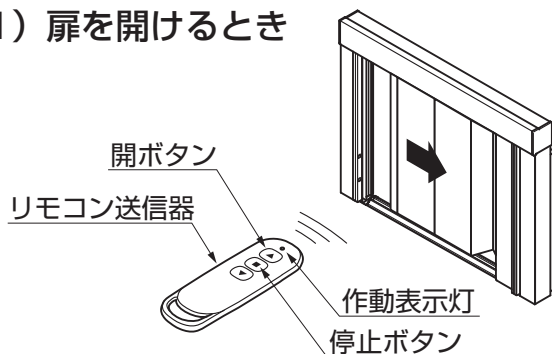
✎ 補足

- 作動途中で一時停止させるときは「■」ボタンを押してください。
- 一時停止位置によっては作動バランスの関係上、多少動くことがあります。
- 安全上「■」ボタンに限り1回押すだけで送信します。

✎ 補足

- リモコン送信器の到達可能距離（目安）は約30メートル以内です。
- 「▲」または「▼」ボタンの2度押し間隔が2秒を超えると送信されません。
- 「▲」・「▼」作動中に逆方向の操作をするときは、必ず一度「■」ボタンを押してください。

(1) 扉を開けるとき

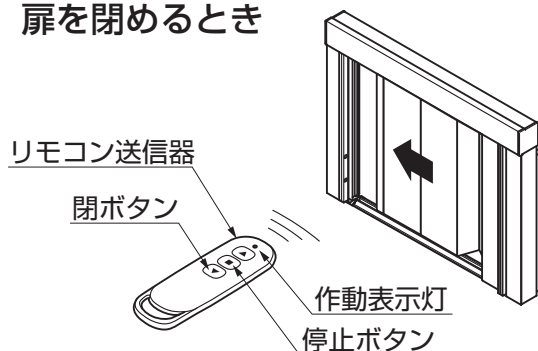


- ①「開(▲)」ボタンを2度押しします。
- ②作動表示灯が「点滅」した後、パネルが自動的に開きます。

✎ 補足

- 作動途中で停止するときは「停止(■)」ボタンを押します。

(2) 扉を閉めるとき



- ①「閉(▼)」ボタンを2度押しします。
- ②作動表示灯が「点滅」した後、パネルが自動的に閉まります。

✎ 補足

- 作動途中で停止するときは「停止(■)」ボタンを押します。

(3) 車載リモコン・スマートフォンによる操作方法（ホームネットワークシステム連動）



✎ 補足

- 使用の際はホームネットワークシステム「ゲート用通信ユニット」および「車載リモコン」設定ガイドを参照してください。

4-3 押ボタンスイッチの操作方法

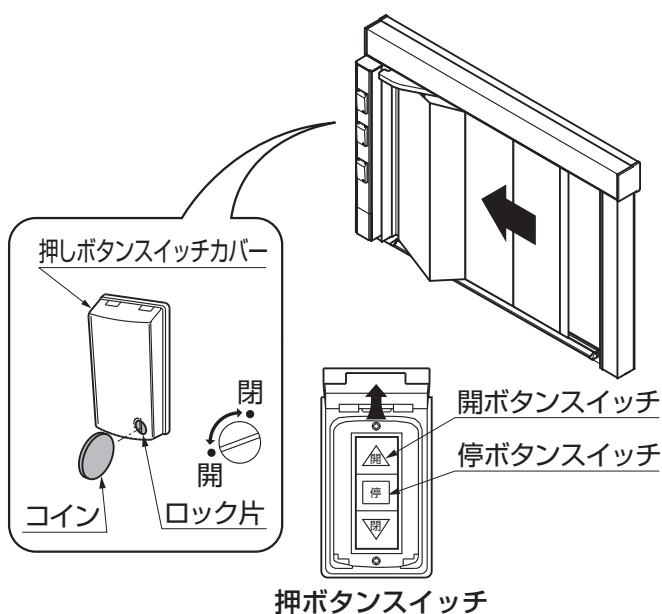
⚠ 警告

- 本製品を操作する場合は、必ず扉を目視確認できる位置で行なってください。操作の際は障害物がないこと、その他周囲の安全を目視で確認してください。特に小さいお子様がいないことを確認してください。

⚠ 注意

- 不用意な操作による事故を防ぐために、操作時以外は押しボタンスイッチカバーをロックしてください。

(1) 扉を開けるとき



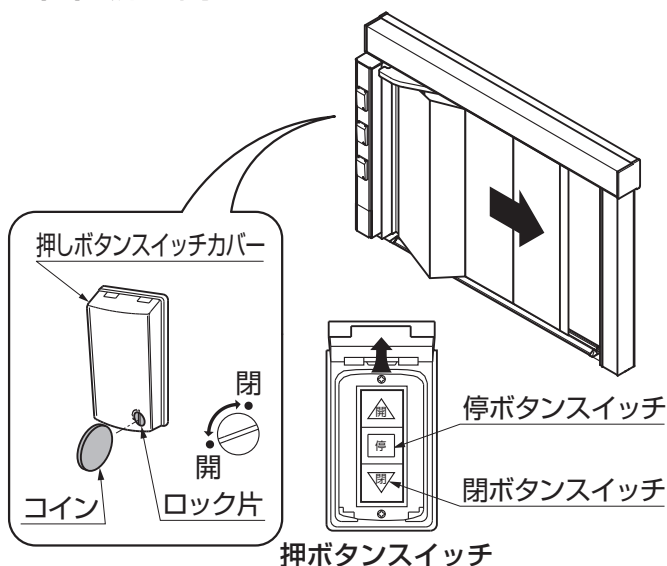
- ①コインなどをロック片に差込み、左にまわして押しボタンスイッチカバーを開けます。
- ②「開」ボタンスイッチを押すと、パネルは自動的に開きます。

✎ 補足

- 作動途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

- ③押しボタンスイッチカバーを閉じ、コインなどをロック片に差込み、右にまわしてカバーを閉じます。

(2) 扉を閉めるとき



- ①コインなどをロック片に差込み、左にまわして押しボタンスイッチカバーを開けます。
- ②「閉」ボタンスイッチを押すと、パネルは自動的に閉まります。

✎ 補足

- 作動途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

- ③押しボタンスイッチカバーを閉じ、コインなどをロック片に差込み、右にまわしてカバーを閉じます。

お願い

- 「開」・「閉」作動中に、それぞれの逆方向操作する場合は、必ず一度「停」ボタンを押してから次のボタン操作をしてください。

4-4 外部押ボタンスイッチの操作方法（オプション）

⚠ 警告

- 本製品を操作する場合は、必ず扉を目視確認できる位置で行なってください。操作の際は障害物がないこと、その他周囲の安全を目視で確認してください。特に小さいお子様がいることを確認してください。

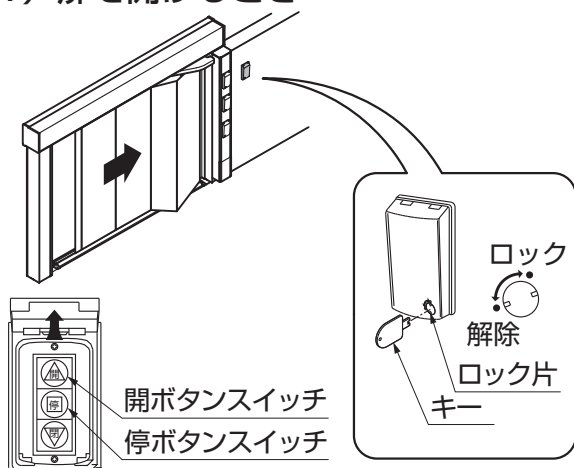
⚠ 注意

- 不用意な操作による事故を防ぐために、操作時以外はカバーをロックしてください。

✎ 補足

- 別売り品の「外部押ボタンスイッチ」は、リモコン送信器とは別に、外部から扉を操作できます。

(1) 扉を開けるとき



外部押ボタンスイッチ

オプション

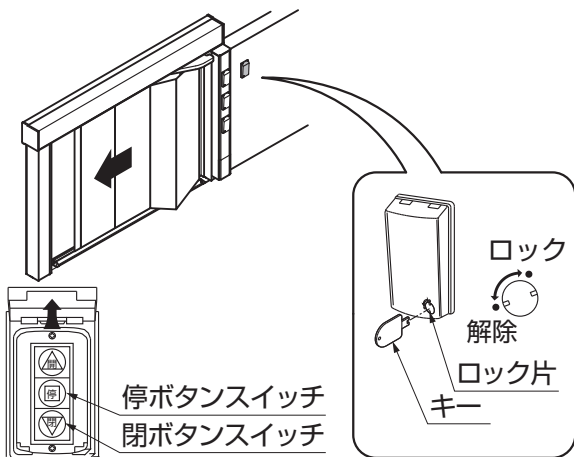
- ①付属のキーをロック片に差込み、左にまわしてカバーを開けます。
- ②「開」ボタンスイッチを押すと、パネルは自動的に開きます。

✎ 補足

- 作動途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

- ③カバーを閉じ、付属のキーをロック片に差込み、右にまわしてカバーをロックします。

(2) 扉を閉めるとき



外部押ボタンスイッチ

オプション

- ①付属のキーをロック片に差込み、左にまわしてカバーを開けます。
- ②「閉」ボタンスイッチを押すと、パネルは自動的に閉まります。

✎ 補足

- 作動途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

- ③カバーを閉じ、付属のキーをロック片に差込み、右にまわしてカバーをロックします。

お願い

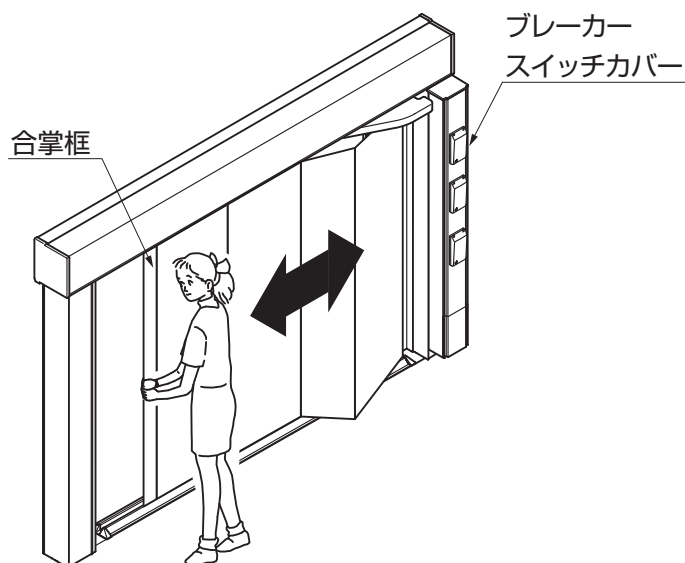
- 「開」・「閉」作動中に、それぞれの逆方向操作する場合は、必ず一度「停」ボタンを押してから次のボタン操作をしてください。

4-5 電動で動かないときの操作方法

補足

- 停電などで電気が不通状態になった場合や強風による負荷でパネルが電動で動かない場合など、緊急時の操作として手動での操作が可能です。その場合、以下の手順にしたがってください。

(1) 手動への切替え

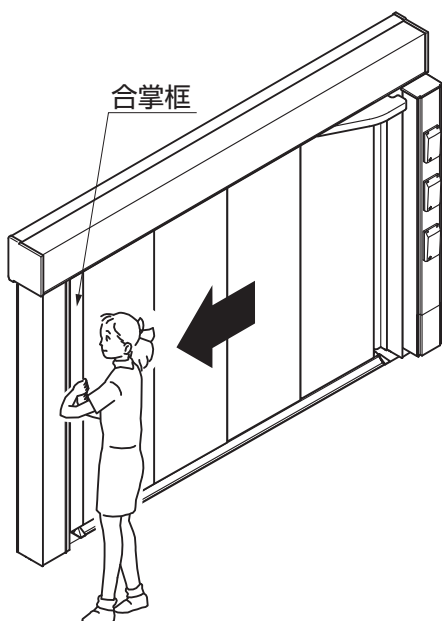


- ①安全のためにブレーカースイッチカバーを開け、ブレーカーを「切」にします。
(「3-3 電源の入れ方・切り方」参照)
- ②ブレーカースイッチカバーを閉めます。
- ③合掌框に手を掛けてパネルを開閉する方向に平行に動かします。

お願い

- 手動での操作は、合掌框の高さの中央あたりに手を掛けてゆっくり確実に行なってください。乱暴な操作は故障の原因になります。

(2) 電動に戻す場合



- ①ゲートを全閉状態にします。
- ②ブレーカースイッチカバーを開け、ブレーカーを「入」にします。(「3-3 電源の入れ方・切り方」参照)
- ③ブレーカースイッチカバーを閉めてロックします。
- ④押ボタンスイッチまたはリモコン送信器で操作し、電動で開閉できるか確認します。

注意

- パネルを開けたままの状態ではブレーカーを「入」にすると、リセットのため自動的にゆっくりと全閉状態まで動きます。安全のため、必ず電動に戻る操作はパネルを全閉にしてから行ってください。

4-6 安全装置について

- パネルが動いているときに人・車や障害物に衝突すると安全装置がはたらき、パネルの動きを制御します。

⚠ 注意

- 安全装置について、内容をよく理解した上で製品を使用してください。誤解すると事故につながるおそれがあります。
- パネルが開く途中で安全装置がはたらくとパネルはその位置で停止します。
- パネルが閉まる途中で安全装置がはたらくとパネルはゆっくりと全開位置まで開きます。
- パネルが閉まりきる付近で安全装置がはたらくとパネルはその位置で停止します。
- 必ず開閉操作の前に人がいないこと、物がないことを確認してから操作を行ってください。
センサーはビームを遮ることで障害物を検知します。障害物の位置や形によりビームを遮らない場合があります、重大な事故になるおそれがあります。特に自動車以外のもの(スクーター・自転車・三輪車・ベビーカー・電動カートなど)については形状がさまざまでありビームを遮らない場合があります。

お願い

- 強風時には風の抵抗を障害物として検知して安全装置がはたらく場合があります。むやみに作動させると部品などの破損や故障の原因になりますので、風が弱まってから作動させるか手動に切替えてから操作してください。〔4-5 電動で動かないときの操作方法〕参照)

4-7 光電センサーが障害物を感知して停止した場合の復帰方法

✎ 補足

- 図は、光電センサー(2 ビーム)オプションの場合です。

- ①光電センサーのビームをさえぎる障害物があるとパネルは自動的に停止します。

✎ 補足

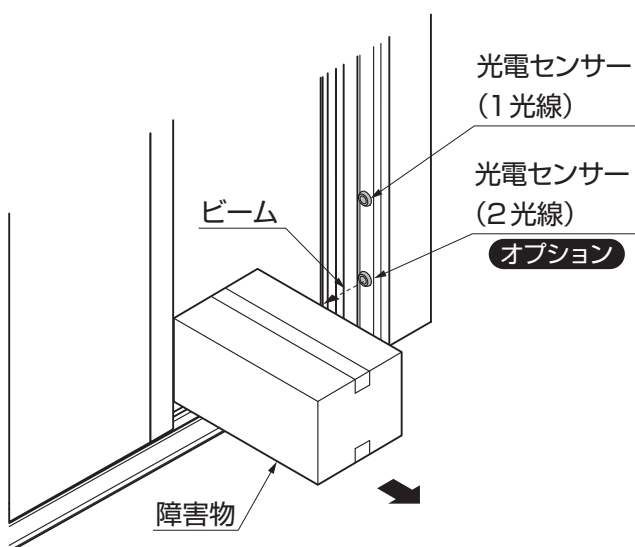
- 操作前に障害物がある場合は、パネルの開閉作動はしません。

- ②障害物を感知して停止した場合は、すぐに障害物を取除きます。

✎ 補足

- 障害物を取除けば、通常の操作ができます。
- 障害物を取除いても、パネルが自動で動き始めることはありません。

- ③パネルの開閉位置に人や物がないことを十分確認してから開閉操作をします。



4-8 ご注意とお願い

⚠ 注意

- 製品強度を超えるおそれがある強風(台風など)時は、パネルを全開にしてロープなどでひとまとめにして動かないように固定してください。

お願い

- キーに刻印している番号(英数字)をご使用前に下記に控えてください。

鍵番号		 鍵番号
-----	--	---

紛失時はこの番号で発注してください。鍵番号が不明の場合は、戸先内外錠ユニットごと交換になります。

- スペアキーをお求めの場合は、キーと同梱のご案内用紙をご覧ください、お買い上げの販売店(工事店)にお問い合わせください。
- シリンダーの動きが悪くなった場合は、錠孔専用の潤滑剤(市販)を使用してください。錠孔専用ではない潤滑剤を使用すると故障の原因になるおそれがあります。
- レールにたまった水が凍結した場合は、必ず溶けてから操作してください。部品などの破損や故障の原因になるおそれがあります。
- リモコン送信器を床に落としたり、衝撃を与えないでください。破損や故障の原因になるおそれがあります。
- 電動状態(通電状態)のまま、無理にパネルを開けないでください。駆動部などを破損するおそれがあります。

✎ 補足

- この商品は、積雪地域対応商品ではありません。
積雪時は、家側の開閉に必要な空きスペースの雪かきを行ない、下レールに積もった雪をかきだしてください。パネルが折りたためなくなり、開閉ができなくなります。
- 積雪時は光電センサー部に雪が積もっていないか確認してください。
雪が積もっていると光電センサーが感知して動かなくなります。
- 車から離れるときは、車のドアを必ずロックしてください。盗難事故などによる損害については責任を負いかねますので、御了承ください。
- リモコン送信器や車載リモコン等、2台以上の機器から同時に送信したとき、および各種無線器コードにて電話などの電波を受けたときは作動しないことがあります。
- リモコン受信器(ゲート用通信ユニット)については、ホームネットワークシステム「ゲート用通信ユニット」および「車載リモコン」設定ガイドを参照してください。

5 調整および交換方法

5-1 リモコン送信器の電池交換

補足

- リモコン送信器による操作距離が短くなったり、作動表示灯が点灯しなくなった場合は、速やかに新しい「リチウム電池 CR2」に交換してください。
- 電池寿命は、1日8回(「▲」・「■」・「▼」いずれか1操作/回)の使用で約1年です。



補足

- 薄くて平らなものを電池カバーのロックキーに挿入し、「ロック解除」の位置に回してください。

補足

- 電池カバーをしっかり押さえながら、ロックキーを「ロック」位置に回してください。

補足

- ※挿入/交換後、正常に機能させるために、次のことを必ずお守りください。
- 電池の極性「+」・「-」を確認の上、正しくセットしてください。また、水分やほこりなどが入らないようにしてください。
- ぬれたり、汚れた手で電池をさわらないでください。電池の接触不良となります。
- 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしないでください。
- 電極を曲げないでください。

5-2 調整について

注意

- 製品の分解や改造は危険ですので、絶対にしないでください。
- 部品に異常や不具合が生じた場合は、むやみな分解や調整をせず、使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。異常作動など故障の原因になり、事故につながるおそれがあります。

6 お手入れについて

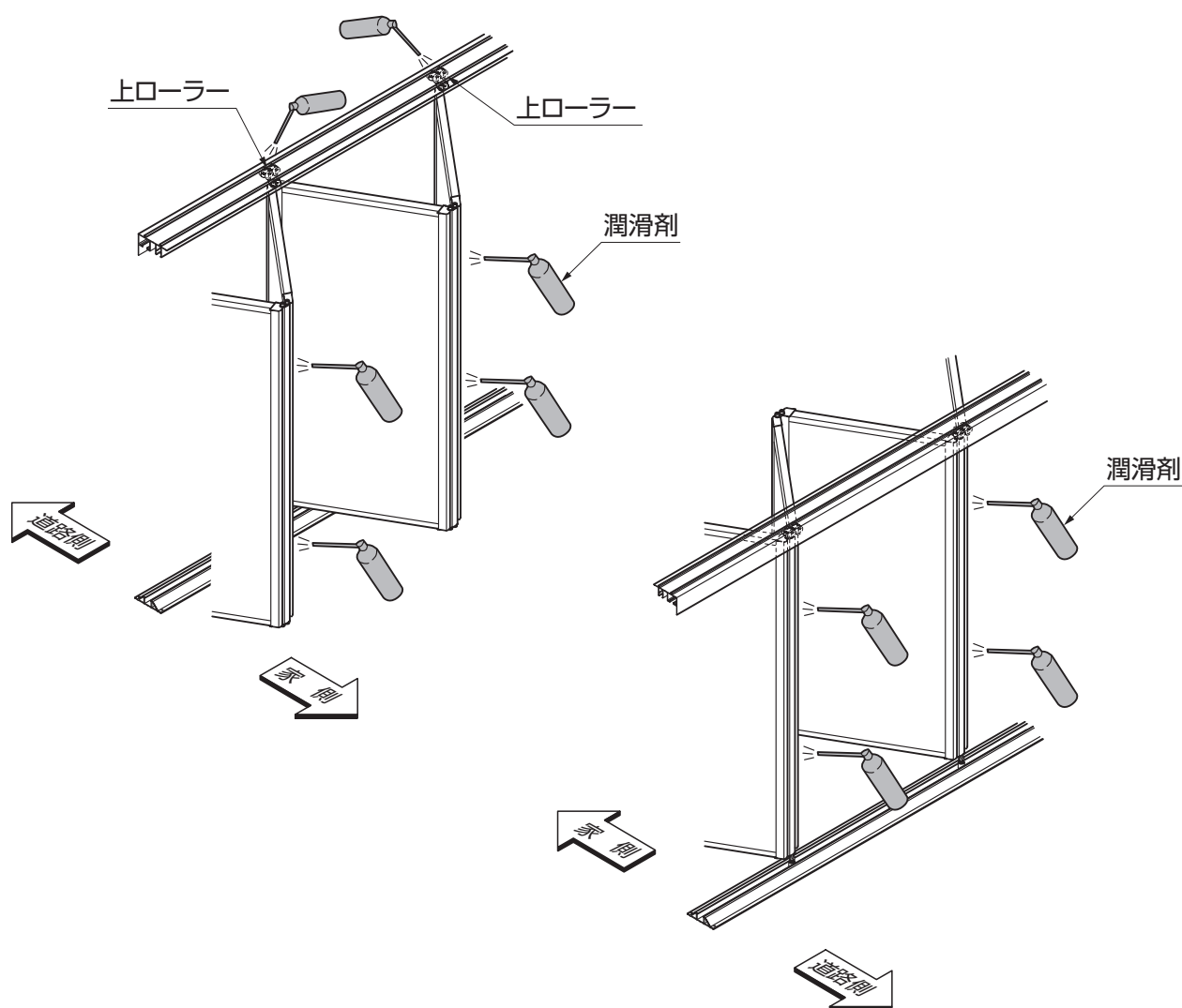
(1) パネルのお手入れ

①年に 2～3 回は水洗いをして拭きとってください。

- a. 汚れが軽い場合は水で濡らした柔らかい布で拭き、乾拭きしてください。
- b. 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お願い

- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。材料が変形・変色したり、塗料がはげることがあります。



②年に 2～3 回潤滑剤を塗布してください。

- a. 円滑な動作を維持するため、パネルの折れ曲がる部分や上ローラー等に潤滑剤を塗布してください。

お願い

- 潤滑剤はシリコン系のものを使用してください。他のものを使用すると砂やほこりが付着し、動きを悪くするおそれがあります。

(2) 柱および桁のお手入れ



①定期的にお手入れをしてください。

- 汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭いたあとで、乾拭きをしてください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

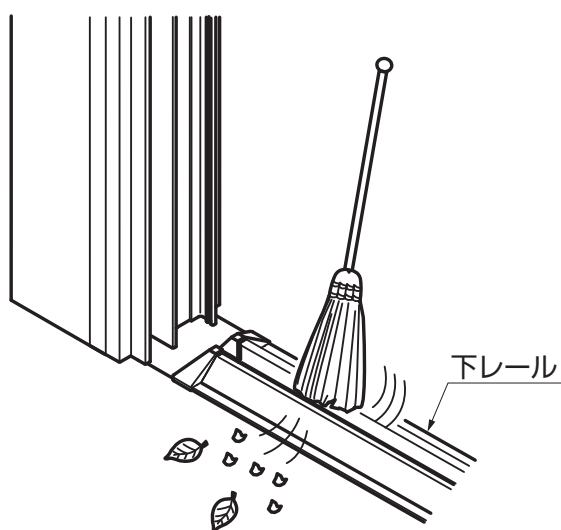
⚠ 注意

●桁および電装ケースには電気機器が内蔵されています。安全のため、直接ホースなどで水をかけないでください。故障の原因になります。

お願い

- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはがれるおそれがあります。

(3) 下レールのお手入れ

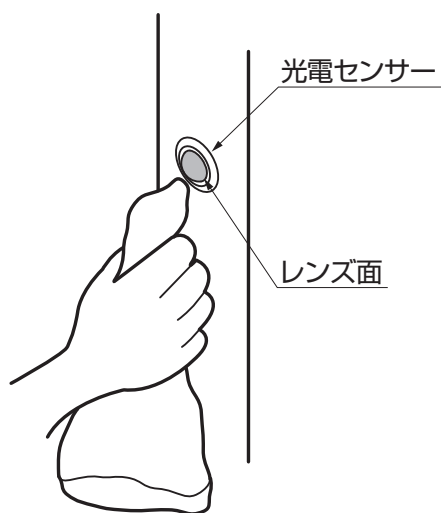


①下レールに、砂や小石・落ち葉などがたまらないように、定期的に清掃をしてください。

(4) キズの補修

- ①アルミ部にあやまってキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。
放置すると腐食の原因になります。

(5) 光電センサーのお手入れ



- ①レンズ面は月に1度を目安にして、かたくしぼった布で拭いてください。

お願い

- レンズ面が汚れると障害物を感知したのと同じ状態になり、パネルが動かなくなるおそれがあります。
- 水をかけて洗わないでください。洗剤・溶剤は使用しないでください。故障の原因になります。

7 修理を依頼する前に

- 故障かなと思ったときは、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときは、修理をご依頼ください。

このようなとき	点 検	処 置
押ボタンスイッチの操作、 リモコン送信器の操作、 手動の操作で パネルが開閉できない	施錠していませんか	解錠してください (「4-1 施錠・解錠方法」参照)
	開閉に必要な空きスペースに 障害物がありませんか	障害物を取除いてください (「2 各部の名称」参照)
	下レール内が凍結していませんか	ぬるま湯をかけて溶かしてください
	下レール内に砂や小石などが たまっていませんか	砂や小石を取除いてください (「6 お手入れについて」参照)
	風が強くありませんか	風が弱まってから操作してください
	上記以外の内容では、電動装置の 故障が考えられます	ブレーカーを「切」にしてください (「3-3 電源の入れ方・切り方」参照) 使用を中止して修理を依頼してく ださい
押ボタンスイッチの操作、 リモコン送信器の操作で パネルが開閉できない	屋内の電源は入っていますか	屋内の電源を入れてください
	停電していませんか	手動操作で開閉してください
	電装ケースのブレーカーが「切」 になっていませんか	ブレーカーを「入」にしてください (「3-3 電源の入れ方・切り方」参照) 再びブレーカーが落ちる場合は、 修理を依頼してください
	光電センサーが障害物を 感知していませんか	光電センサーが感知している 障害物を取除いてください (「4-7 光電センサーが障害物を 感知して停止した場合の復帰方法」 参照)
	光電センサーのレンズ面が 汚れていませんか	光電センサーのレンズ面を清掃 してください (「6 お手入れについて」参照)
	桁内部・電装ケース内部から 異音・異臭がしませんか	ブレーカーを「切」にしてください (「3-3 電源の入れ方・切り方」参照) 使用を中止して修理を依頼して ください

このようなとき	点 検	処 置
リモコン送信器の操作で パネルが開閉できない	リモコン送信器の操作方法が 間違っていないですか	「開(▲)」または「閉(▼)」ボタンを 2 度押ししてください (「4-2 リモコン送信器の操作 方法」参照)
	リモコン送信器の電池が 消耗していませんか (送信表示灯が点灯していますか)	新しい電池に交換してください (「5-1 リモコン送信器の電池 交換」参照)
	リモコン送信器の電池の向きが 間違っていないですか	正しく取付け直してください (「5-1 リモコン送信器の電池 交換」参照)
	2台以上のリモコン送信器から同時 に発信していませんか	同時に発信しないでください
	各種無線機、コードレス電話など 同時に使用していませんか	同時に使用しないでください
	操作位置が遠すぎませんか	実用到達距離以内で操作してください (「10 仕様」参照)
	リモコン送信器が受信器に登録 されていますか	リモコン送信器に登録してください (「3-4 リモコン送信器を新規登録 ・追加登録・登録抹消するときの方法」 参照)
施錠・解錠できない	キーが間違っていないですか	正しいキーを差込んでください
車載リモコン・スマート フォンの開閉ボタンを押 しても動かない	ホームネットワークシステム「ゲート用通信ユニット」および 「車載リモコン」設定ガイドを参照してください。	

8 修理と保証

(1) 保証書について

- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

(2) 保証期間

お願い

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日（お引渡し日）	1年	2年
電 装 部 品	無 料	有 料
電装部品以外	無 料	有 料

(3) 修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
- 修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店(工事店)または、「お客さま相談センター」にお問い合わせください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電 話 番 号	
施 工 店 名		そ の 他	

9 別売り品

- 下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。
 - ・リモコン送信器(追加用)
送信器を増やしたいとき、あやまって破損・損失したときにご利用ください。
 - ・補修塗料
誤ってキズをつけたときの補修にご利用ください。
 - ・外部押ボタンスイッチセット(KUK51)
扉を道路側または見通せる離れた場所から操作したいときにご利用ください。
 - ・ホームユニット
スマートフォンを使用したいときにご利用ください。
 - ・車載リモコン(追加用)
他の車でも使用したい等、追加したい時にご利用ください。

10 仕様

項 目		仕 様
入力電圧		AC100V(50 / 60Hz)
モーター出力		35W
作動温度(凍結時は除く)		-10℃~50℃
開閉時間(シングル・ワイド共通)		約 18 秒
操作方法	電動タイプ	リモコン送信器(押ボタンスイッチ※)、 車載リモコン
	ホームネットワーク システム連動	リモコン送信器、車載リモコン、 スマートフォン(押ボタンスイッチ※))
リモコン到達距離(見通し距離)		リモコン送信器：約 30m 車載リモコン：約 30m

※施工時や非常時、リモコン電池切れの際に、コントロールの押ボタンスイッチで操作が可能です。

補 足

- リモコン到達距離は、周囲の環境や電波障害などにより短くなることがあります。

プレミエスゲート ー 電動タイプ ー 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前	様
	電 話	()

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電 話 ()	

株式会社 LIXIL

〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

- 保証者**
株式会社LIXIL
- 保証の対象者**
当該商品の所有者
- 対象商品**
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
- 保証内容**
取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
- 保証期間**
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間)ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
※注)新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
- 品質保証の免責事項**
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
 - ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
 - ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
 - ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。

- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさく裂、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
- ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)。
- ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
- ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起る腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
- ⑨天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
- ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
- ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し含む)に起因する不具合。
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。

※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、下記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報の確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」(<http://www.lixil.co.jp/privacy/>) をご覧ください。

取説コード

UD094

JZZ615872E
200803A_1007
202012F_1049